

# 人材ビジネス関連用語集

用語	内容説明
I S O	環境・品質の国際標準
G M P	薬事法関係の基準
O H S M S	安全衛生システム
I S M S	個人情報保護のシステム
H A C C P	食品関係の安全衛生システム
メンタルヘルス	こころの健康管理 過労死・過労自殺で関心が高まっている。
O J T	職場内で労働時間内に日常業務通じた訓練
O F F - J T	職場を離れて受ける集合訓練
目標管理 (M B O)	自己の目標を設定し、動機付けをはかり、意欲の向上・生産性の向上を図る。
小集団活動	Q C サークル (品質管理) Z D (欠点、不良品ゼロ) 等
インセンティブ	個人の欲求を満たすものストックオプション等
雇用のミスマッチ	企業の求める人材と求職者の条件がかみ合わないこと
コンピテンシー	できる人の行動特性、採用等に採用されている
労働力人口	15歳以上で就業者と完全失業者数
M字カーブ	女性の就労状況の特徴 30代前後で減少するが、その後増加する。
タクトタイム	製品・部品を作るのに必要とされる時間
多能工	1つの工程だけでなく、異なる工程でも作業できる。
T P M	トータルプロダクトメンテナンスの略。 機械設備だけでなく、人材のメンテすること
アウトプレースメント	「肩たたき」のこと。退職勧奨。
360度評価制度	上司が部下を評価するだけでなく、部下から上司や同僚から評価をする制度
定期昇給	定期的に賃金表に基づき、昇給すること。
ジャストインタイム	「必要なモノを、必要な時に、必要なだけ生産・供給する」こと トヨタ生産方式に代表される。
顧客満足 (C S)	顧客に与える満足度を最大にすることを中心に考える経営活動。
26業務	労働者派遣法に規定されている専門的な業務で、派遣受入期間の制限はありません
二重派遣	労働者は派遣先が別の会社に派遣することで、労働者派遣法で禁止されています。
専ら (もっぱら) 派遣	特定の派遣先に、労働者派遣を行う目的にした派遣で、労働者派遣法で禁止されています。
事前面接	労働者派遣法では、労働者の特定を禁じていて、派遣前の派遣先の面接を禁じています。※紹介予定派遣の場合を除く
日本的雇用	企業別組合・終身雇用・年功序列
災害の4M	人 (M A N) 機械 (M A C H I N E) 材料 (M A T E R I A L) 方法 (M A T H O D)
ツールボックスミーティング (T B M)	これから行う作業について、ごく短時間に作業の方法や各人の役割、生産、安全性のポイントについて職場でひらくミーティングです。

# 人材ビジネス関連用語集

用語	内容説明
TWI	TrainingWithinIndustry の略で、第一線の監督者の監督能力向上のための定型訓練コースです。
OEM	簡単にいうとお客先のブランド名で製品製造を委託によりおこなうこと
多能工	一つの工程作業だけでなく、複数の工程作業できる作業員
固定費（率）	企業の操業度の増減に関係なく、期間の発生が一定である費用
変動費（率）	企業の操業度に応じて比例的に変動する費用（注 人件費の変動費化）
製品ライフサイクル（PLC）	新製品が市場に投入されてから消費者に購入され、市場に受け入れなくなり破棄されるまでの製品の一生。 導入期・成長期・成熟期・衰退期にわけられる
CI 戦略	コーポレート・アイデンティティ（CI）のことで、社名の変更やロゴの変更などがこれにあたります。
PM 理論	三隅二不二教授によって提唱されたリーダーシップ理論で、リーダーシップの機能を集団の目標達成機能（P）と集団の維持機能（M）の2つに分けている
マーケティングの4P	製品（Product） 価格（Price） マーケティング経路（Place） プロモーション（Promotion）をいいます。マーケティングを考える上での重要な要素です。
VDT 作業	VideoDisplayTerminals の略でパソコンを使う作業等が該当します。
デフェクトスタンダード	ISO 等の法による基準ではなく事実上市場シェアをとることにより基準となったもの（ビデオ VHS 方式、パソコン OS のウィンドウズ等）
POS システム	ポイントオブセールスの略で、販売時点商品管理システムのこと。 小売業のレジ等に多く導入されている。
ベースアップ	賃金表（カーブ）そのものを上昇させること。
ジョブローテーション	社員の能力開発のため、社員の職務を計画的に買え、いろいろな経験をさせること。
ヒューマンエラー	事故が起きた原因で人的なものによるもの
フロー型人材	パートタイム労働者等の流動的労働者
ストック型人材	終身雇用的な基幹労働者